

第6 2回全国高等学校軟式野球選手権岡山県大会Cブロック 2回戦

2017年07月18日 矢掛高校 VS 瀬戸南高校

@真庭やまびこスタジアム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
瀬戸南	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
矢掛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

矢；三澤魁太一小池

文責：三年生野球部一同

矢掛高校の命運を託された先発は、三澤魁太（真備中）。

1回表、瀬戸南高校の攻撃。三澤魁太の上々の立ち上がりを見せ、三者凡退に抑える。

1回裏、矢掛高校の攻撃。一死から三澤魁太がバントヒットで出塁し、次打者の高見（小北中）の進塁打と、暴投で二死三塁のチャンスを迎えるも、一本が出ず、先制点を奪えない。

2回裏、矢掛高校の攻撃。先頭を三振で抑えられ二者連続飛球で抑えられる。

3回表、瀬戸南高校の攻撃。一死から四球を与えてしまい、進塁打で二死二塁のピンチを招くが、次打者を左飛で抑え、先制点を与えない。

4回表、瀬戸南高校の攻撃。先頭打者に四球を与え、一死二塁となるも、後続を抑える。

4回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の三澤魁太が中前打を放つも盗塁死となる。次打者の高見が四球で出塁するも、連続飛球で抑えられる。

5回表、瀬戸南高校の攻撃。先頭打者に左前打を放たれるも、三澤魁太が圧巻の三者連続三振を奪い、この回を守り抜く。

5回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の福尾（井原中）が左前打を放ち出塁。続く渡邊透弥（矢掛中）が犠打を決め、さらに原（総社東中）が進塁打を放ち二死三塁のチャンスを迎えるが、三振で先制点を奪えない。

6回裏、矢掛高校の攻撃。二死から高見が左前打を放ち出塁するも後続を抑えられる。

7回表、瀬戸南高校の攻撃。先頭打者に左前打を放たれ、犠打で一死二塁。さらに、続く打者に左前打を放たれ盗塁を決められ、一死二・三塁のピンチを招く。ここで、内野ゴロが痛恨の悪送球となり、2点を奪われる。さらに、一死三塁とピンチは続く。ここで矢掛高校は、一年生の佐藤武蔵（木之子中）を一塁手として投入し、守備の安定を図る。このピンチはチーム一丸となって守り、追加点を与えない。

8回裏、矢掛高校の攻撃。先頭の原が左前打を放ち、ここで代走：猪原（高屋中）が登場。続く山崎（高屋中）の犠打により一死二塁となるも上位打線が抑えられ、無得点。

9回表、瀬戸南の攻撃。先頭打者に死球を与えてしまう。犠打で一死二塁とされるも、三塁手：山木の好プレーにより追加点を与えず、最後の攻撃に望みを繋ぐ。

9回裏、矢掛高校の攻撃。どうにかチャンスをつくりたい矢掛高校は、先頭に好打の赤木（小北中）を送る。赤木は三球目をすくい上げ左飛。続く山木は粘りを見せフルカウントから投じられた八球目の一ゴロが失策となり出塁。走者を増やしたい場面で、代打に大山（小北中）が登場。しかし、捕邪飛で二死。ここで福尾に打順が回る。しかし、相手投手のこの試合133球目を打って投飛となり、試合終了。

矢掛高校は瀬戸南高校に2-0で敗戦し夏が終わった。得点のチャンスをいかすことができず、公式戦の雰囲気からか、いつも通りのプレーができなかった。しっかりとボールを見極めることはできていたが、やはり、「チャンスの場面で活躍することができない」という今の代の課題は克服できなかった。この試合で3年10人は引退だが、この課題を次の世代で克服し、山室世代の分まで頑張ってもらいたい。

また、矢掛高校で3年間野球を続けてこられたのは、いつも支えてくださり、応援してくれた家族や地域の方々、毎日、家族のように接してくれた先生、一緒に戦ってきてくれた後輩がいてくれたからである。このことに感謝し、残り少ない高校生活を過ごしていきたい。今まで応援して下さった方々、ありがとうございました。

3年生一同

新チームの戦績

18 勝 22 敗 3 分